

組織再編で3社体制へ。徹底的な差別化で企業価値を向上

らくらホールディングス

札幌市中央区北5条西6丁目1・23 道通ビル3階
 ☎011・251・0015 <http://www.lacura-g.com/>

「元気な高齢社会の創造」を目指し、高齢者の生活基盤を支えている「らくらグループ」。ビジネスの差別化を図るため、6月1日には組織を再編、新体制となる。

「ア」と給食および介護事業所向け配食サービスを担う「らくらダイニング」と合わせて3社体制で事業を推進していく。

「同施設に併設するデイサービス」のテーマは、動く、作る、学ぶで、学校のような機能も持たせています。具体的には語学や歴史講座などを開設し、地域の方々にも気軽に参加していただけるものにと考えています」と浅沼社長。



大量の調理に対応したキッチン



6月からスタートする弁当販売

7月開設の「らくら新川」の居室。生活感を大事にしたづくりだ



1R、1DK、2DKの3タイプを用意

現在、傘下のグループ企業は在宅事業、施設運営事業、給食配食事業を担っており、このうち、在宅と施設運営事業を統合し「らくらケア」を設立する。これにより、「らくらホールディングス」を筆頭に「らくらケ

新会社「らくらケア」初の大きな事業となるのが、7月1日開設予定のサービス付き高齢者向け住宅「らくら新川」のオープンだ。

一方、配食サービスの「らくらダイニング」は、4月にセントラルキッチンを一新。これにともない6月からは、新たに高齢者向け宅配弁当の販売もスタートだ。

浅沼社長は「私の曾祖父は開拓民として北海道に憧れ、夢を抱いて山形から1人で当別町に入植しました。当社が初めて高齢者施設を開設したのも当別です。曾祖父をはじめ北海道を拓いた先人の思いを引き継ぎ、当社のノウハウを当別町のまちづくりに提供していきたいと思っています」と今後の事業にかける思いを語った。

場所は、札幌市北区新川2条6丁目（旧ビッグシップ跡地）。全63室



浅沼静華社長